

はじめに

平成30年度厚生労働省委託「母性健康管理推進支援事業」において、「働く女性の身体と心を考える委員会」を設け、通信調査、ヒアリング調査を実施し、中小企業における母性健康管理のあり方について検討を行いました。

職場における母性健康管理の重要性をご理解いただくと共に、女性労働者が妊娠中・出産後も安心して働き続けられる職場環境整備のための取組にお役立ていただければ幸いです。

本調査を実施するにあたりご協力いただきました企業の皆様に対し、心より御礼申し上げます。

本ガイドブックに出てくる調査の概要について

調査名：厚生労働省委託調査 母性健康管理に関する実態調査

< 通信調査 >

調査対象：企業調査（無作為抽出した中小企業2,000社）

：女性労働者調査（企業調査対象企業を通じ、以下の条件を満たす女性労働者に配布）

- ・就業中に妊娠経験のある（または妊娠中の）女性労働者
- ・雇用形態は問わない
- ・未子年齢が小学校6年生まで

調査期間：平成30年7月2日～7月27日

回 答 数：企業調査436件、女性労働者（郵送）373件

< ヒアリング調査 >

調査対象：通信調査回答企業から選定